

令和2年度 第3回学校運営協議会 議事録

日 時 令和2年10月14日(水)16:00～16:55

場 所 逗子高等学校 会議室

<出席者>

(委員) 関、吉川、黒羽、村上、村川、矢島、川島 (敬称略)

(学校) 校長、副校長、教頭、事務長、木下、澤野、小池、藤井、下山田、新村

<議 事>

1 校長あいさつ

- ・別添プリントによる近況報告。9月の文化祭(グリーン祭)は、コロナ禍の制限のもとで生徒の主体的な活動が見られた。10月末には体育祭も予定している。
- ・指定校推薦結果一覧の配付及び説明。
- ・部活動加入者一覧の配付と説明。

2 今年度の学校評価(中間評価)について

- ・「令和2年度学校評価報告書(中間報告)」について、視点ごとに当該グループリーダーから校内評価の概要について説明した。

3 各部会ごとの協議 (視点ごとの学校関係者評価の策定)

(1) 学力向上部会(関、吉川、村上、澤野、小池)

- ・コロナ対策による臨時休業中の生徒への学習支援(課題の提示、指導等)が、学校再開後の生徒の学習状況(学習習慣、習熟度)を見ると効果的であったと評価できる。
- ・2カ月に及ぶ臨時休業分の授業の遅れをできる限り取り戻してもらいたい。
- ・グーグルクラスルーム等のリモート指導は臨時休業中の指導に大きな成果を残した。また、平常時でもその有用性が実感できた。今後もリモート指導等を充実させていくべきだ。

(2) 地域連携部会(黒羽、村川、木下、藤井)

- ・コロナ禍のもとでも、今年度はワークショップ(1年)や地域インタビュー(2年)の実施までに漕ぎ着けたことは学校側もよく努力したと思う。ワークショップの講師やインタビューからの学校(逗子高校)に対する評価も高くなった。今年度のワークショップ(1年)や地域インタビュー(2年)が成功裏に終わることを期待する。
- ・ワークショップや地域インタビューの地域連携事業の逗葉高校(新校)への引き継ぎも検討している。

(3) キャリア部会(矢島、川島、下山田、新村)

- ・指定校を希望する生徒が相変わらず多いが、できれば一般入試でより高い目標を持って大学入試に取り組むよう指導したい。しかし、現在逗子高校に割り当てられた指定校が目当てで入学してきた生徒やその保護者も多いので、指定校での進学指導も充実させていく必要もある。悩ましいところである。

以上